

何でも読もう会

書物名	『裸の王様』 開高健	開催 日時	2023.3.6	推薦	
巻・章	全編			出席者	7名
<p>芥川賞受賞作を読み比べている。本作品はS32/下半期の受賞。</p> <p>この作者の作品は『珠玉』について当会では2冊目である。</p> <p>作者がこの本を書くきっかけとなった当時の背景について、メンバーのSiさんが入念な調査をされた。Siさんによると、</p> <ul style="list-style-type: none">・アンデルセンの童話『裸の王様』のテーマである「権力者の虚栄と愚劣」を物語の根底に置き、純真な子供心を抑え込まれた少年の心の解放に向けて、絵画教師と少年の二人三脚の苦闘が述べられる一方で、名誉欲に駆られた大人たちへの批判がある。・昭和30年当時に起きた児童画ブームに触発され、作者は種々聞き回ったようだ。久保貞次郎氏の提唱した「創造美育運動」の全国的なうねりが背景にある。 <p>算盤や習字の教室が一般的な時代、子供の時に画塾に通ったというメンバーが二人いた（その時期に該当）。</p> <p>作品のモチーフは分かり易かった。審査員が縷々評しているように、最終章で大人たちを小馬鹿にして溜飲を下げる箇所は当会でも同じ発言が続いた。</p>					